

# 颱風の眞只中に 農家調査も終る

### 調査員各位の努力に感謝すると共に

### 調査票の検査に御注意を乞ふ

全國一齊に施行せられた農家調査もいよいよ九月一日現在にて縣下四千四百余名の統計調査員各位の献身的努力と各農家の絶大なる援助協力とに依つて茲に無事終了した。この日こそ忘れ難い震災日であり、又農家にとつての厄日二百十日であつた。去る六月下旬の未曾有の水禍を克服して之が復興に全力を傾倒してあらん限りの活動を續けて居られる時も時、この厄日に縣下を襲つた颱風雨は遂に各河川の大出水となつて再度の災禍を蒙つた。この様な災禍の中を統計調査員は擔當區内の農

家一戸々に就て萬難を排して職務を遂行され、重大なる責任を果たされたのであるから、其の苦心は想像に余りあることである。斯様にして調査せられた尊き資料は目下調査員各位の手許で一粟毎に周密な検査が行はれ、これに依つて調査區結果表も作製して一点の欠点もない完全なるものを提出する意氣込で整理されつゝあると云ふ各地方の情報であるから概して順調に進捗されて居ることは誠に喜ばしき極みであると共に其の努力を心から感謝する次第である。

來る九月下旬には事務の進捗上縣下數ヶ所に各町村係員の參集を求めて縣係員出席の上各一票毎に査閲の上取纏める計畫で目下其の準備中であるから市町村の主任者は勿論、調査員各位も充分内容を検討して然る後にあの複雑な結果表の作成に着手して正確なものを提出する様に努力して欲しい。若しも調査票の分類に誤りがあれば折角の努力も徒勞となり集計の遣り直しとなつて査閲の進捗をさまたげること夥しいばかりか遂に再出縣と云ふことにもなつて汚名を残すことになるから周到

な審査を要望する。調査票の分類は少くとも二人以上が代つて検査すると云ふ様に互審することが尤も緊要のことであるために検査方法を掲げて参考に資する。

農家調査票の記入が終つたとき調査員は書き洩れがないか否か、又一つの農家に於て記入したことに矛盾がないか否かを充分検査する必要がある。調査票検査の要點を左に記す

- 一、市町村名、調査區番號(自分の調査區に於て調査票が二枚以上あるときは其の内譯番號)、調査擔當者氏名捺印欄の記入に洩れがないか否かを確かめる
- 二、農家番號、農家の所在地、農家の世帯主氏名欄に誤なきや否やを確かめる。
- 三、專業兼業別欄に於ては全農家に必ず一ツ宛〇印が附いて居る筈である。
- 四、「兼業農家の兼業の種類」欄では必ずしも〇印が附くとは限らない。
- (1)「專業兼業別」欄の最上段(專業農家欄)に〇印のある農家に於ては「兼業の種類」欄は空白の筈である。

- (2)「專業兼業別」欄の第二(農業を主とする世帯欄)、第三(農業を従とする世帯欄)段の何れかに〇印のある農家に於ては兼業種別欄に〇印が必ず一ツ附く筈である。
- 若し(1)又は(2)に反する場合は間違ひがある證據である。
- 尙「兼業種別」欄の〇印は一農家に二つ以上附いてあるときは誤りであり何れか一つを消さねばならない。
- 五、「農業の種類」欄では各農家に〇印が一ツ、二ツ又は三ツの中何れか必ず附く筈である。

- 此の欄で〇印が二つ又は三つ附いてあるときは、其の中の一つは必ず〇印でなければならぬ。若し二つ又は三つとも〇印だけで〇印がなければ誤りであり、何れか一つを〇印にせねばならぬ。
- 六、「耕作面積」欄では當該農家に關し耕作面積の調査洩れがないか否かを検査すること。
- 自作地又は小作地なき場合は空欄とせず必ず「―」を附すること。

合計欄は必ず數字で埋まつて居る筈である。

合計の計算に誤りなきや検査すること  
七、「耕作面積」欄に對する小作地の割合「欄では上欄の「耕作面積」欄の第二段(小作地欄)に「―」のある農家は必ず「―」となる筈である。

又第一段(自作地欄)に「―」のある農家は必ず「〇」である筈である。  
割合の計算に誤りなきか否か必ず検査をする必要がある。

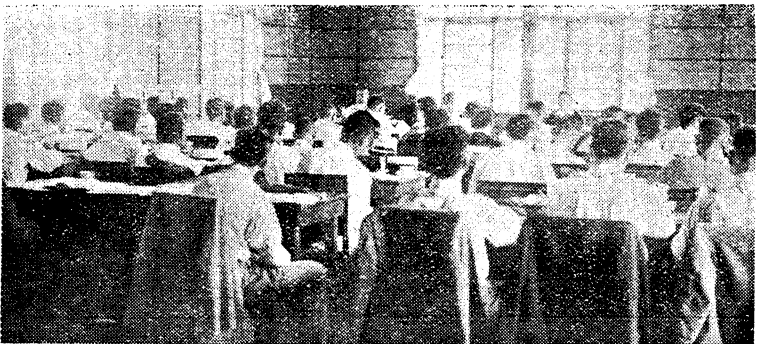
八、市町村に於ては調査票通し番號の記入を忘れぬこと



……農家  
調査 査閲日割決定……

農家調査書類の査閲日割は左の如く決定したが當日は(一)市町村結果表及調査區結果表(二)調査票(三)準備調査用農家名簿(四)單記式調査票但し各調査區毎に整理編綴のこと(五)耕地面積比較調(六)農家調査に關する經費調等の各書類を市町村統計主任者が持參提出する事になつた。

- ▼水戸(縣廳分館會議室)九月廿六日水戸、
- ▼東茨城郡(縣廳分館會議室)九月廿六日上野、下野、大野、稻荷、大場、酒門、石崎、吉田、藤岡、河和田、上中妻、長岡、上野合、白河、橋、小川、竹原、○二十七日堅倉川根、鰻、淵、下中妻、中妻、波里、飯富、山根、石塚、小松、西郷、坪、岩船、澤山、伊勢畑、磯濱、大貫
- ▼西茨城郡同二十八日(全所) 全町村
- ▼那珂郡(同所)十月二日湊、平磯、前渡、中野、勝田、川田、佐野、村松、石神、神崎、額田、菅谷、五臺、柳河、國田、戸多、○同三日芳野、木崎、瓜連、餘、大場、上野、大宮、大賀、玉川、鹽田、山方、檜澤、小瀬、野口、長倉、八里、岩郷



- ▼久慈郡(同所)九月三十日磯初、世矢、坂本、東小澤、西小澤、幸久、佐竹、郡戸、久米、金、響、世喜、金砂、天下野、高倉、染和田、山田、響田
- 十月一日佐都、河内、中里、賀美、小里、生瀬、宮川、黒澤、依上、佐原、大子、袋田、上小川、下小川、諸富野、太田、久慈
- ▼多賀郡(全所)九月二十九日全町村
- ▼鹿島郡(鉾田町役場)十月四日夏海、大谷、沼前、巴、徳宿、諏訪、鉾田、新宮、上島、白鳥、大田
- 同五日 中野、波野、豊郷、豊津、鹿島、高松、息柄、輕野、若松、矢田部、波崎
- ▼行方郡(麻生町役場)九月二十六日麻生、香澄、八代、潮來、津知、大生原、太田、大和、津澄、要
- 同二十七日武田、秋津、立原、現原、玉川、行方、小高、玉造、手賀、延方
- ▼稻敷郡(縣廳分館會議室)十月四日 江戸島、君賀、沼里、嶋崎、安中、木原、君原、舟柴、阿賀、朝日、眞野、岡田、莖崎、牛久、駒、八原、長戸
- 同五日根本、柴崎、太田、高田、大須賀、伊崎、阿波、古渡、浮島、龍ヶ崎、大宮、生板、源清田、長竿、金江津、十倉島、本新島
- ▼新治郡(縣廳分館會議室)九月三十日 眞鍋、上天津、下天津、美並、牛渡、佐賀、安飾、志土庫、關川、高濱、田倉、玉川、石岡、園部、五倉、林、戀瀬
- 十月一日荳穂、柿岡、小幡、小櫻、志筑、新治、七會、都和、藤澤、斗利出、山ノ莊、榮九重、栗原、東、土浦三

農家調査

主任者會議

縣下五ヶ所て開催

九月一日現在に依り全國一齊に實施された農家調査に關し之が調査の萬全を期するため去る八月八日から六日間に亘り縣下五ヶ所に於て市町村農家調査主任者會議を開催、久保田總務部長の挨拶に續いて左記指示注意を與へ各所とも時局柄緊張裡に協議研究された。(カットは縣廳分館の主任者會議)

- 八月八日 縣廳分館會議室 (水戸市、東茨城郡)
- 八月九日 全 室 (久慈郡、那珂郡)
- 全 十日 鉾田町役場 (鹿島郡、行方郡)
- 全 十一日 石岡町役場 (新治郡、筑波郡)
- 全 十二日 下館町小學校 (眞壁郡、結城郡)
- 全 十三日 龍ヶ崎町役場 (北相馬郡、稻敷郡)

- ▼筑波郡(谷田部町自治會館)十月二日谷田部、小張、板橋、久賀、三島、谷井田、豊、谷原、十和、福岡、眞瀨、島名、旭
- 同三日上郷、吉沼、高道祖、作岡、田水山、菅岡、筑波、田井、北條、小田、大穂、葛城、小野川
- ▼眞壁郡(縣廳分館會議室)九月二十八日下館、竹島、養蠶、河間、中、五所、伊讀、大田、關本、上妻、河内、川西、下妻、大寶、勝波、江黒子
- 同二十九日嘉田生崎、村田、鳥羽、上野、大長讀、古里、谷貝、紫尾、樺穂、雨引、眞壁、大國、新治、小栗
- ▼結城郡(宗道町自治會館)九月二十六日結城、絹川、江川、山川、上山川、中結城、名崎、安藤、大形、岡田、大花羽、菅原、下結城、豊岡
- 同二十七日西豊田、總上、豊加美、蠶飼、宗道、玉、石下、豊田、五箇、三妻、大生、飯沼、水海道
- ▼猿島郡(境町稅務出張所)九月二十八日占河、新郷、勝鹿、岡郷、櫻井、香取、五霞、齋長、田、八俣、幸島、猿島、森戸
- 同二十九日生子菅、逆井山、七重、香掛、弓馬田、飯島、神大實、岩井山、七郷、中川、境長須
- ▼北相馬郡(坂手町自治會館)九月三十日菅生、坂手、内守谷、小網、大井澤、大野、高野、守谷、高井、稻戸、井山、山、寺原
- 十月一日取手、井野、小文間、六郷、相馬、高須、川原代、北文間、文、布川、文間、東文間

總務部長挨拶要旨

這般稀有ノ水禍ニ際シテハ官民一致ノ献身的御努力ニ依リマシテ之力救護其ノ他處置ニ萬遺憾ナキヲ得マシタコトハ深く欣幸トスル所デアリマス  
災害後ニ於ケル復舊並ニ復興ニ就キマシテハ各位ノ深甚ナル御協力ニ依リマシテ水害對策ノ樹立實行ヲ期シツ、アル次第デアリマスカラ今後尙一層ノ御協力ヲ致サレンコトヲ此ノ機會ニ切望致ス次第デアリマス  
本日茲ニ御繁忙中ノ處ヲ特ニ各位ノ御參集ヲ煩ハシマシタノハ本年九月一日ヲ期シ全國一齊ニ臨時ニ實施セラレマス農家調査ニ關シマシテ親シク御協議ヲ遂ゲ又各位ノ腹藏ナキ御意見ヲ承ハラン爲デアリマス  
御承知ノ如ク支那事變ハ愈々長期ノ態勢ヲトリ今ヤ舉國不退轉ノ努力ヲ續ケツ、アルノデアリマスガ抗日ノ不退勢

力ヲ殲滅シ東洋永遠ノ平和ヲ確立シマスニハ前途尙遠遠デアリマシテ、時局ハ一層重大性ヲ加ヘツ、アルノデアリマス

此ノ秋ニ當リ國力培養ノ基礎資料ヲ提供スベキ統計事務ニ携ハル者ハ其ノ責任ノ重大ナルヲ痛感セシメラル、ノデアリマス。又今次事變ヲ契機トシテ各種統計ノ需要ハ著シク増加シ其ノ重要性ハ益々増大スルニ至ツタノデアリマシテ統計ノ整備充實ハ現下喫緊ノ要務デアルト信ズルノデアリマス  
扱テ本日ノ主題タル農家調査ハ實ニ如上ノ意味ニ於テ實施セラル、ノデアリマシテ其ノ目的トスル所ハ現下長期戦下ニ於ケル銃後農村諸施設ノ萬全ヲ期スルト共ニ又一面産業諸統計ノ基礎的資料ヲ整備セントスル極メテ重要ナル意義ヲ有スル調査デアリマス  
從來之ガ調査ト致シマシテハ御承知ノ如ク毎年農林省ニ於テ全國ノ農會ヲ通ジテ調査致シテ居リマス農事調査ガア

ルノミデアリマシテ未ダ組織的畫一的ナ調査ヲ行ツタ事ガナイノデアリマス斯クテハ國家非常ノ今日到底農家ノ實情ヲ知得スルコトガ出來ズ從テ適切ナル農村諸對策ノ運用ニモ缺クル所ガアリマスノデ今回政府ニ於テハ市町村ノ農林統計調査機關ヲ動員シテ全國統一の二本調査ヲ實施シ農業國策ノ基本要素タル農家ノ實態ニ付確實ナル統計ヲ整備スルコト、ナツタノデアリマス  
是レヨリ各事項ニ就キマシテ指示協議ヲ致スノデアリマスガ各位ニ於カレマシテモ本調査其ノ他一般統計事務ニ付萬遺憾ナキヲ期セラレ本協議會ノ效果ヲ充分收メラル、様切望スル次第デアリマス

### 指示事項

一、調査趣旨ノ普及ニ關スル件  
本調査ハ農業ニ關スル基礎的事項ヲ明瞭ナラシムルト共ニ現下長期戦下ニ於ケル

3、準備調査トシテ豫メ調査區内ノ農家ヲ調査セシムルコト

### 四、調査ノ方法ニ關スル件

本調査ハ統計調査員ヲシテ擔當調査區内ニ於ケル全農家世帯ニ就キ所定連記式調査票ヲ以テ對人調査ノ方法ニ依リ調査スベキモノナリ若シ單記式調査票ヲ使用スル場合ハ更ニ列記式調査票ニ移記セララル、様配慮セララレタシ

### 注意事項

#### 一、調査事項ノ研究ニ關スル件

本調査事項ハ左記六項ニシテ之ガ記入ニ際シテハ相當困難ナルヲ豫想セラル、ニ付調査内容ニ關シ充分研究セラレ誤謬ナキヲ期スルニ努メラレタシ

- 1、農家ノ所在地
- 2、農家世帯主ノ氏名
- 3、專業兼業別
- 4、兼業農家ノ兼業ノ別
- 5、農業ノ種別
- 6、自小作別耕地面積

尙左記ノ點留意セララレタシ

一、調査票記入文字ハ凡テ楷書ヲ以テ萬年筆用インクヲ用ヒ明瞭ニ記載スルコト

二、記入スベキ數字ハ一、二、三、一〇ニ依ルコト

三、誤謬訂正ノ場合ハ縦ニ一線ヲ劃シ其ノ右側ニ記載スルコト

四、調査票中〇〇ヲ要スル欄以外ノ各欄ニ記載スベキ事項ナキ場合ハ「」ヲ引クコト

#### 二、事務ノ進捗ニ關スル件

調査事務ハ動モスレバ遲延シ易ク爲ニ調査ノ圓滑ナル進行ヲ阻害スルノ惧アルヲ以テ別紙ニ依リ該事務ノ進捗ヲ圖リ萬遺憾ナキヲ期セララレタシ

#### 三、結果表ニ關スル件

調査票ニ依リ市町村ニ於テ市町村結果表ヲ作成スベキモノナルモ之ガ内容ノ審查不充分ナルニ於テハ結果表作成上支障多キニ付嚴重ナル審查ヲ遂ゲタル後各調査區毎ニ調査區結果表ヲ作成シ更ニ市町村結果表ヲ作成セラル、様特ニ留意アリタシ

銃後農村諸施設ノ效果ヲ全カラシムル上ニ於テ喫緊ヲ要スルモノアリ各位ハ之ガ趣旨目的ノアル所ヲ充分了解シ被調査者ヲシテ苟モ誤解ナキヲ期セラレ進ンデ本事業ニ協力セラル、様特ニ留意アリタシ

#### 二、調査ノ範圍ニ關スル件

調査ノ範圍ニ關シテハ別紙農家調査要綱ニ依リ既ニ了知セラル、所ナルモ本件ハ最モ緊要ナル事項ナルヲ以テ彙ノ質疑解答參照ノ上適確ヲ期スルニ努メラレタシ

#### 三、調査員ノ指導訓練ニ關スル件

調査員ノ指導訓練ニ當リテハ特ニ意ヲ用ヒ調査ノ重要性ニ關スル認識ヲ徹底セシメラル、ト共ニ速ニ調査員會ヲ開催セラレ調査票ノ記入方ニ付遺憾ナキヲ期セラレタシ

尙左記ノ點留意セララレタシ

1、調査事項ノ聽取ハ簡單明瞭ヲ旨トシ被調査者ヲシテ不快ノ念ヲ懷カシメザル様努ムルコト

2、調査票ノ記載ニ當リテハ誤記セザル様細心ノ注意ヲ拂ヒ嚴密ナル検査ヲナスコト

#### 四、調査書類ノ提出期限嚴守ニ關スル件

調査書類ハ昭和十三年十月十日迄ニ市町村ヨリ縣ニ提出スベキ管ナルモ本調査ノ結果ハ敏速ニ編整スルノ要アルヲ以テ之ガ提出期限ハ特ニ恪守セララレタシ

#### 五、調査書類ノ管守並送付ニ關スル件

調査書類ノ管守ニ關シテハ特ニ嚴重ニシ荷モ散逸、毀損又ハ不慮ノ災厄ノ爲亡失スルガ如キコトナキ様配慮セラル、ハ勿論之ガ提出ニ際シテハ荷造ニ付周密ナル注意ヲ拂ハレタシ

#### 一、一般統計調査ニ關スル件

統計ノ整備充實ニ關シテハ從來屢々指示シタル所ナルモ今ヤ時局ハ長期戦ノ體制下ニ入り爲ニ之ガ對策施設上各種嶄新ナル統計ヲ必要トスルト共ニ國家各般施設ノ資料トシテ活用ノ範圍擴大セラレツ、アルヲ以テ自今一層統計ノ整備充實ニ力ヲ致サレタシ

★ ☆



# 各地統計雑信

## 那珂郡東部統計事務研究会

八月十五日平磯尋常高等小學校に於て東部統計事務研究会を開催、縣より吉見屬が出席した。午前十時大會根同町助役の開會の挨拶あり、次いで吉見屬より農家調査に就き要綱及質疑解答を基とし夫々説明協議を遂げ午後三時閉會した。出席者は左の通りである。

- 平磯町大會根助役、岡部書記、湊町高田書記、前渡村澤島書記、中野村横須賀書記、勝田村谷田部助役、川田村小澤書記、柳河村鈴木收入役、國田村高安書記、戸多村茅根書記、芳野村寺門書記、菅谷村海野書記、五臺村車田書記、神崎村川又書記、石神村根本書記、額田村船橋書記

## 東茨城郡支部總會

佐野村照沼書記、村松村大内書記

統計協會東茨城郡支部では八月十七日東茨城郡磯濱町役場で臨時總會並に事務研究会を開催し、縣より小泉屬が出席した。粉川支部長の開會の挨拶に引續き昭和十二年度統計協會東茨城郡支部歳入歳出決算を附議し、江橋幹事より各款、項、目に亘り詳細に説明ありたる後滿場異議なく之を可決して臨時總會を終了せり、次で事務研究会に移り小泉屬より農家調査につき調査要綱及結果表作成に就き詳細なる説明あり熱心に研究する處あつて散會した、出席者全町村

## 久慈郡南部統計事務研究会

去る七月二十一日久慈郡南部統計事務研究会を久慈郡佐竹村に於て開催、縣より高島屬が出席した、午前九時半佐竹村助役川崎保之介氏の開會挨拶あり、續いて高島屬より農家調査に就て詳細説明あり質疑解答をなし休憩の後午前引續き縣提出一般統計に付て研究協議をなし、解散した、出席者左の通り

- 小祝幹事(町村長會)、川崎助役(佐竹)、岡崎書記(佐竹)、五來書記(久慈)、鈴木書記(河内)、大島書記(機初)、大内書記(坂本)、岡田書記(幸久)、川崎書記(東小澤)、高野書記(西小澤)、助川書記(郡戸)、渡邊書記(佐郡)、和田書記(山田) 神書記(譽田)、富永書記(久米)、江幡書記(世矢)

## 久慈郡中部統計事務研究会

八月十五日久慈郡金砂村役場に於て久慈郡中部統計事務研究会が開催され縣より高留屬、町村長會より小祝幹事が出席した、午前十時金砂村長菊池敏之介氏の開會挨拶あり續いて農家調査に付高島屬より詳細説明ありたる後質疑解答を行ひ終了した。出席者は左の通り

- 菊池村長(金砂)、會澤書記(金砂)、金田書記(金砂)、助川書記(賀美)、鈴木書記(梁和田)、小田部書記(小里)、會澤書記(中里)、井上書記(高倉)、飯島書記(天野)、荒井書記(金郷)

質疑解答をなし終了した、出席者左の如し。

- 大子町菊池助役外四人、袋田村藤田書記外六人、依上村益子書記外二人、下小川村川野邊書記外十一人、佐原村矢田部書記外六人、生瀬村鴨志田書記外十人、黒澤村益子書記、宮川村菊池書記、諸富野村小野瀨書記

## 筑波郡南部統計事務研究会

八月二十日筑波郡南部統計事務研究会を豊村小學校に於て開催、各町村統計主任及統計調査員、縣より高島屬出席した、午前十時研究会會長十和村長中島菊次郎氏の開會挨拶あり、續いて高島屬より農家調査に就き詳細説明ありたる後質疑解答をなし解散した、出席者左の如し。

- 十和村中島村長外七人、谷井田村萩書記外三人、谷原村飯塚書記外九人、豊村渡邊書記外九人、山口書記(小張)、中島書記(板橋)、野口書記(久賀)

## 久慈郡西部統計事務研究会

去る八月十六日久慈郡西部統計事務研究会主催に依り農家調査に付各町村統計調査員訓練會を大子町小學校講堂に開催、縣より高島屬が出席した。午前十時大子町助役菊池洗氏の開會挨拶あり續いて高島屬より農家調査要綱及質疑解答集に依り詳細説明ありたる後

## 眞壁郡下妻支部統計事務研究会

去る八月十七日眞壁郡下妻支部統計事務研究会を眞壁郡下妻町役場に開催縣より池田屬が出席した。午前九時半下妻町小澤書記の開會の挨拶あり、續いて池田屬より、農家調査に就て詳細説明あり質疑解答をなし種々研究協議をなし解散した。出席者左の通り

- 小澤書記(下妻)、横塚書記(關本)、横瀨書記(大寶)、杉山書記(河内)、宮田書記(川西)、廣瀨書記(鷹波ノ江)、勝沼書記(黒子)、眞田書記(鳥羽)、坂入書記(上野)

## 新治郡出島部農家調査協議會

新治郡出島部會統計事務研究会美並村外五ヶ村では八月二十日下大津村小學校に農家調査事務研究会を開催、縣より菊池屬が出席した、午前十時塚本下大津村長より開會の挨拶あり、次い

で菊池屬挨拶後農家調査會議要項に依り注意事項、調査要綱、結果表作成方法等に就き説明あり質疑應答を重ぬ午後一時閉會した、出席者は左の通りである。

下大津村塚本村長、松澤書記外調査員七名、美並村松澤書記外調査員十一名、牛渡村稻生助役関口書記外調査員十名、安飾村小室書記外調査員六名、志士庫村濱野書記外調査員九名、佐賀村齋藤書記外調査員十名

東郡第一支部研究会

統計協會東茨城郡支部第一支會に於ては八月二十一日磯濱尋常高等小學校

☆統計調査員異動

(上は新、括弧内は舊)

昭和十三年七月二十三日 北相馬郡守谷町  
渡來 春吉 (齋藤 喜一)  
入江 竹次郎 (田中 正)  
全 七月十六日 全 町

中山 兼三郎 (中山 義雄)  
全 七月二十日 筑波郡久賀村  
富澤 麻吉 (岡田 良雄)  
全 八月一日 多賀郡高岡村  
野木 捨吉 (鈴木 宗盛)  
全 八月十七日 那珂郡額田村  
寺門 吉平 (中島 政壽)  
全 八月十七日 那珂郡木崎村  
井坂 久 (生田目順三)  
藤山 一 (藤山 猛)  
小川倉雄介 (小泉 長命)  
全 八月二十一日 結城郡絹川村  
鶴見 卯平 (齋藤 眞一)  
全 八月十八日 結城郡中結城村  
内藤 竹三郎 (櫻井安之助)  
全 八月十五日 結城郡安靜村  
鶴田 金作 (中島柳三郎)  
藤田 誠 (鈴木 貫一)  
西山 彌平次 (秋葉 定吉)  
岩坂 仙太郎 (青木源十郎)  
全 八月十五日 結城郡絹川村  
石島 藤一 (齋藤 茂)  
全 八月二十三日 久慈郡東小澤村  
川崎 勇 (大内寅之介)

に於て統計調査員聯合研究会を開催、縣より小泉屬が出席した。午前八時二十分開會、第一支會幹事上大野村横須賀助役の挨拶に續いて小泉屬より農家調査要綱に依り詳細なる説明あり、調査上遺憾なきを期する事にした。尙當日の出席者左の通り六十一名である。

△縣、小泉屬。△大場村、飛田書記、調査員、小橋正男、岩崎嘉道、吉川朔、江橋忠一、佐藤利八、片岡春吉、齋藤辰藏、吉川勇。△下大野村、平戸書記。調査員、木林吉之介、宮本金太郎、大和田喜代、栗原直一、宮崎利雄。△石崎村、飛田書記、調査員、櫻井俊男、柴沼好徳、長洲彌松、長洲泰一、長洲新一、大信敬、金

田中 正 (石田 務)  
全 六月三十日 西茨城郡北山内村  
高野 文治郎 (飯島 勇吉)  
全 七月二日 西茨城郡西山内村  
郡司 定義 (和田高三郎)  
全 七月二十六日 新治郡眞鍋町  
岩瀬 信雄 (野口 清次)

全 日 新治郡菟穂村  
杉田 省一郎 (荻部 義延)  
全 八月六日 東茨城郡白河村  
八文字 文五郎 (八文字孝雄)  
高野 竹彦 (眞家 昌治)  
眞家 伊十 (八文字 英)  
全 七月二十七日 結城郡名崎村

澤久吉、石崎貢、清水貞、海老澤彌市、岡山崗一。△稻荷村、江橋書記、調査員、鴨志田篤、飛田新太郎、高野隆、岩澤兼吉、大間吉藏、上田清次郎、宮部茂、木村善三郎、木村傳六、落合兼吉、鈴木眞一。△磯濱町、河上書記、調査員、皆藤源次郎、溝口邦男、坂本孝、關根仁平、石崎作衛門、小沼誠次郎、石崎清太郎。△上大野村、横須賀助役、調査員、山内豊三郎、人見賢久、川又丑太郎、瑞朝之介、遠西虎之介、緑川庫太、畠山吉則、坂場久慶、横須賀甚左衛門。△大貫町、佐藤書記、調査員、市毛次郎左衛門、米川喜兵衛、栗原助太郎

▽學事年報集合査閲

學事年報丙號表は例年の通り事務の統一と内容の完璧を期する爲左記日割に依り集合査閲を行つたが町村學事統計主任者及學校の學事統計擔任者の不斷の努力に依り支障なく完了することが出來た。

郡市別	集合場所	査閲日割	集合町村
水戸市	茨城縣廳	八月二十九日	水戸市
東茨城郡	同	同 二十二日	全 町 村
西茨城郡	同	同 二十六日	同
那珂郡	同	同 二十三日	同
久慈郡	同	同 二十四日	同
多賀郡	同	同 二十五日	同
鹿島郡	鉾田町役場	同 二十二日	同
行方郡	麻生町役場	同 二十五日	同
稲敷郡	茨城縣蠶業取締所江戸崎支所	同 二十三日	同
筑波郡	筑波郡自治會館	同 二十七日	同
眞壁郡	眞壁郡下館稅務出張所	同 二十四日	同
新治郡	石岡尋常高等小學校	同 二十六日	同
結城郡	結城郡自治會館	同 二十五日	同
猿島郡	境町役場	同 二十六日	同
北相馬郡	北相馬郡元自治會館	同 二十六日	同



柳川



山中緋郎選

『雜詠』

新治郡高濱町 スフではと意見の合はぬ嫁支度

木村 常雄

鹿島郡豊郷村 國策へベンを走らす調査員

石津 調六朗

稲敷郡岡田村 洪水に金魚一匹逃げ残り

諸岡 竹川

東茨城郡石塚町 正札を割引しると無理を言ひ

鈴木 一郎

北相馬郡東文間村 義理缺いてお互淋し水害地

宵雪 辻人

那珂郡柳河村 慰問品亡き戦友の名で届き

青柳 春男

行方郡武田村 約束の様に厄日の時化となり

鳥次 とり坊

水戸市 出房りへ淋しく残る桐篋箆

大高 静香

水戸市

本郷 統計子

東茨城郡石崎村 松風の音涼さや瀉の浪

櫻井 星光

鹿島郡沼前村

川 澄春暢

新治郡藤澤村 水深く腐りし稻を人のぞく

柳田 翠山

筑波郡旭村

廣瀬 實

那珂郡山方村 夕顔の咲きて樹の蟬鳴き止みぬ

鯉沼 秀峰

鹿島郡豊郷村

石津 調六朗

架け稻や筑波日和によく乾く

黒須 一雅

行方郡延方村 馬とめて汗ふく樹下や蟬時雨

堀 草風

同 武田村 兵のせて夏野を走る列車かな

堀越 正直

北相馬郡東文間村 碁に負けて寝てしまひけり夏の宵

木村 常雄

新治郡高濱町 唐黍の茂る中なる小寺かな

大高 静香

水戸市袴塚町 美しき日傘がゆれて納涼船

小松澤 靈翠

稲敷郡君原村

ホルモンの話がはづむ晝休み

行方郡大和村

内田 六統生

綻びの穴を子供につゝかれる

次號課題 『雜詠』

締切 十一月一日

宛名 茨城縣廳内統計協會



俳句

前田猶春選

秋燈に寶石のよく光りけり

行方郡大和村

内田 六統生

書をふせて虫きく夜半の机かな

同

同

初秋の景色となりて黄昏れぬ

同 武田村

鳥次 ゆた香

佛壇にとどく出水に陽がゆらく

同 武田村

鳥次 ゆた香

蚊遣火に顔そむけたる嬢かな

稲敷郡岡田村

諸岡 寒月

水ひきて芥の匂ふ残暑かな

筑波郡久賀村

幸田 芳春

夕立のはげしく芭蕉叩きけり

同 筑波郡久賀村

青木 白流

つばくらに空の深さや雲の峯

同 筑波郡久賀村

飯島 俣平

古野良着尊き汗にぬれにけり

同 筑波郡久賀村

飯島 俣平

佳作

(賞)

潮來の灯映れる水を泳ぎけり

行方郡武田村

小貫 九區男

次回俳句募集

題 秋季雜詠

一人十句限り

締切 昭和十三年十一月五日嚴守

佳作に粗品を呈す

### 茨城統計と

### 廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百七十八ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種団体、會社工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

◆本誌の廣告料金は左の通りです

- 特別(一頁(表紙裏裏)) 金拾五圓
  - (半頁(同)) 金八圓
  - 普通(一頁) 金八圓
  - (半頁) 金四圓
  - (四分ノ一) 金貳圓
- ▼同一廣告を引續き二回以上のときは二割の割引をします。
- ▼廣告に寫眞挿入又は木版を要するものは其の費用を別に申受けます
- ▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會

### 編輯後記

★ 水害に亞ぐに暴風雨の慘禍、風伯雨師何すれど無慘なるは天を呪ひたくもなる。それにも拘らず、自家の被害をよそに水害の調査に、又は復舊に寢食を忘れて奔走活躍する縣下統計調査員各位の姿は涙なしには見られず、自らその真剣な態度に心打たれるものがある。謹んで御見舞申上げると共に滿腔の敬意を表する次第である。

★ 恐らく一億圓にも上るであらう慘禍を蒙つた縣下町村の打撃にもめげず、復舊へ、復興へと努力する各位に愁りの秋は音づれた。この好季に銃後を護る戦士の意氣を示し、試練に打勝つ國民の力を表はすべきである。それでこそ國民總動員の皮果を収める所以であらう。

★ 本號から長畑統計官の蠶糸統計論が連載される。讀者諸賢の指針となり参考となる

★ ところが多いだらうと信ずるが熟讀されん事を望む。

★ 燈火親しむ候諸賢の研究、實地について色々疑義も生じやう、本誌相談欄を利用されん事を望むと共に、各種の感想、意見等も誌上に開陳して華を添へ、果を結ぶ様に御協力あらん事を望んで止まない。

—加藤敬愛—

昭和十三年九月十三日印刷  
昭和十三年九月十五日發行

(隔月一回十五日發行)  
一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳  
茨城縣統計協會内

發行兼編輯人 川崎末吉

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷人 柴博

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷所 柴印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會